

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」代表者会議（第20回）

日 時：令和4年4月21日（木）9時-10時

参加者：（教員等協議会）飯本（理事）

（若手研）迫田（理事）、廣田（参与）、辻、渡邊、廣内

（学友会）小池、橋本

概 要：

①若手研 ICRP 次期主勧告に向けたアンケート調査

- ・ 若手研では ICRP 次期主勧告にて話題となっている放射線防護関連のテーマに関して、若手会員（40歳以下の学会員）が興味のある分野を調査するため、現在、アンケートを実施している（回答締切日：4/22（金））。
- ・ 現時点で35件の回答が得られており、途中の集計結果として回答の多い順から「新しい線量体系」「防護と安全と最適化」「防護システムの目的と現状」が挙げられる。また、35件のうち6件（うち2件は社会人学生）が学生の回答であり、「環境の防護」「（放射線防護の）倫理」「NORM」に興味を持っている印象である。
 - 「環境の防護」だと、例えば、ICRPと国が考えているアセスメントの違いを取り上げることも可能だと思われる。
- ・ 今後、本アンケートをとりまとめ、6月企画シンポジウムの若手研セッション（6/28（火）15:50～16:50 予定）の内容を検討する。

②4月からの学友会幹事団

- ・ 4月から学友会幹事団が、会長 小池氏、副会長 中村氏、会計 橋本氏に変更となった。
- ・ 他の大学に学生がいないか確認するためにも、学会事務局が管理するリストを活用して学生会員の所在を確認することもできるのではないかと。
 - 現在、保物学会事務局が会員名簿の更新を行っているところであり、事務局に最新情報を確認すると良い。
- ・ 学友会も若手研も、数年で人の入れ替わりがあるため、今後、イベントスケジュールなどの年次計画のみならず、中期計画等も作成しておくのが良いと思われる。

③若手研メーリングリスト（メーリス）と若手メーリスの棲み分け

- ・ 現在、若手研に所属する会員の「若手研メーリス」と、保物学会の若手会員の「若手メーリス」の2種類がある。アンケート調査などは、若手メーリスを用いているため、若手研メーリスとの棲み分けができていないところ。
- ・ さらに、若手研のコアメンバーがあまり増えないことも課題である。

- 例えば、若手会員同士がお互いにコネクションを広げるためにも、今後、若手会員に対して、自己紹介資料のような1枚紙を作成してもらい、とりまとめの上で、若手会員内で公開するのはどうか。お互いを知ることができるはず。相談すれば、会長名で依頼することも可能だと思われる。
- そのような情報に基づき、夏にサマーセミナーの実施や、12月合同大会の集まりなどで声を掛けることも可能ではないか。特に、このような働きかけを通じて、若手研のプラットフォーム作りができると思われる。
- ・ 本会議の議事録を若手メーリスで配布することも可能。今回の議事録から若手メーリスなどで共有し、若手研が活動していることをアピールすることとした。

④IRPA YGN 委員の引き継ぎ

- ・ 現 YGN 委員の迫田氏が退任するため、新たに人選する必要がある。現在、人選方法等を検討中である。

○次回の開催予定

日本保健物理学会「教員等協議会・若手研・学友会」合同会議（第21回）

5月26日(木)9:00-10:00 Zoom 開催

次回より、各組織の希望者にも参加を呼びかける。これに伴い会議名を改称